

社会科学習指導略案

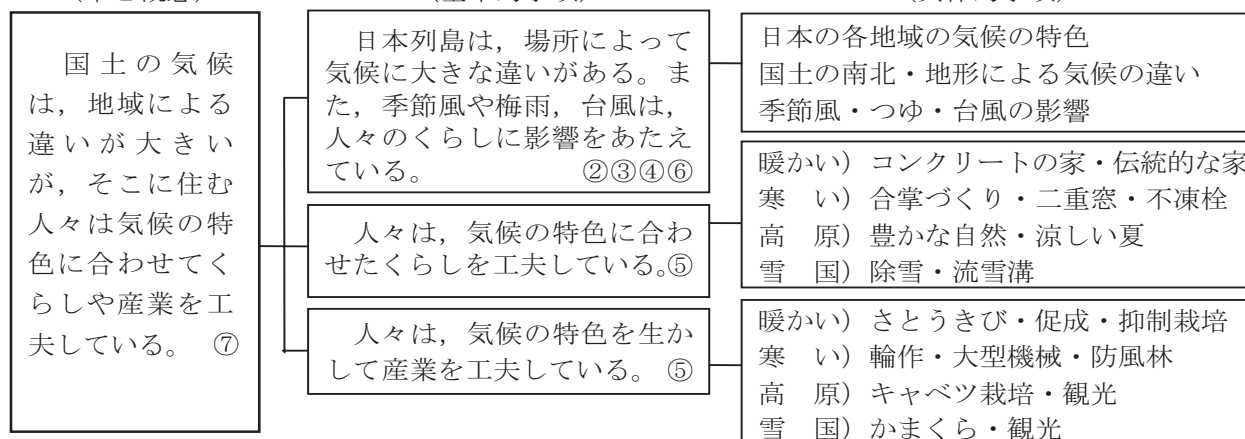
5年2組 31名 指導者 小川 誠

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 本授業で使用した「見える図」は、子どもの思考力・判断力を高めるために有効であったか。

1 小単元 国土の気候の特色と人々の暮らし (大単元 1 わたしたちの国土)

2 小単元の構造について (概念構想図) ※○数字は時 (中心概念) (基本的事項) (具体的事項)



3 指導計画 (総時数7時間)

| 過程 | 主な学習活動【評価規準】 | 時間 |
|----------|---|------|
| つかむ・見通す | <p>1 鹿児島県のくらしや産業が気候と関連があることを振り返り、日本全体の様子について予想を立て、学習問題をつくる。</p> <p>日本各地の人々のくらしと産業には、気候とどのようなつながりがあるのだろうか。</p> <p>2 学習問題について予想し、追究の柱を立て学習計画をつくる。</p> <p>◎ 日本各地の気候 ◎ 日本各地の産業 ◎ 日本各地の人々のくらし ※ 選択した地域ごとに追究する。</p> <p>子どもにかかわりがある場所や特徴的な気候や地形の場所を意図的に取り入れることにより、意欲をもって追究の柱を立てられるようにする。</p> | 1 |
| 調べる | <p>3 追究の柱について、資料をもとに個人やグループで調べ、全体で話し合う。(ジグソー学習)</p> <p>(1) 選んだ地域の人々のくらしや産業と気候について、個人で調べる。 1</p> <p>(2) 選んだ地域ごとのグループをつくり、調べたことを交流する。 1</p> <p>(3) 通常のグループで、個人で調べた地域について交流する。 1</p> <p>(4) 各地の人々のくらしや産業と気候との関連について、全体で話し合う。 1</p> <p>【思・判・表】 日本各地の人々のくらしや産業と気候を比較することで、各地の人々の生活や産業が気候と関連していることに気付くことができる。</p> <p>【技】 調べたい地域の人々のくらしや産業の情報を集めて調べることができる。また、他の発表を聞いて白地図にまとめることができる。</p> <p>それぞれの地域を比較することで、人々のくらしや産業が気候と関連していることに気付くようにする。</p> | (本時) |
| まとめる・生かす | <p>4 調べたことをもとに、学習問題についてまとめる。</p> <p>日本の気候は、地域によって大きく異なる。人々は、気候の特色によってくらしを工夫したり、気候を生かした産業を工夫したりしている。</p> <p>【知・理】 気候の特色に合わせて人々の生活や気候を生かした産業が各地で営まれていることを理解している。</p> <p>5 選んだ地域の気候の特色や工夫を紹介する観光パンフレットをつくる。</p> <p>学習したことを基に根拠を明らかにしながら、自分が選んだ地域の気候の特色をいかした生活には、どのようなよさがあるか考えさせる。</p> | 2 |

4 本 時 (5 / 7)

(1) 目 標

日本各地の人々のくらしや産業と気候について調べたことを発表し合い、人々のくらしや産業が気候を生かしたものであることを理解することができる。

(2) 評価規準

日本各地のくらしや産業を気候と関連付けて考え、どの地域も気候の特色を生かしていることがわかる。 【社会的事象についての知識・理解】

(3) 指導に当たって

本時は、小単元の「調べる」過程として設定した。これまでの学習で、自分が選んだ地域の人々のくらしや産業と気候を関連付けて考えてきた。そこで、本時では、調べてきたものを交流し合い、どの地域の人々も気候の特色に基づいた生活をしていることに気付くことをねらいとしている。

まず、「つかむ・見通す」過程では、これまで調べてきたことを基に、予想をたてる。次に、「調べる」段階では、それぞれが調べ学習グループで「見える図」にまとめたことを比較することで共通点に目を向けるようにする。さらに、人々の苦労や工夫にも目を向けるようにしていきたい。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識

□ 指導の手立て ※評価

| 過程 | 時間 | 主な学習活動と指導の手立て・評価 |
|---------|----|--|
| つかむ・見通す | 7 | 1 前時までのふり返しをする。 ・気候に合わせた生活や産業があったな。 ・自分が調べたところを聞いてもらいたいな。 2 学習計画を基に、本時のめあてを確認する。 日本各地の人々のくらしや産業は、気候とどのようなつながりがあるのだろうか。 3 めあてに対する予想を立てる。 ・沖縄では、暑さを防ぐくらしをしている。 ・北海道では、寒い中で農業が行われている。 ・気候にくらしや産業を合わせている。 |
| | | 4 調べてきたことを、グループで発表する。 ・私は、寒い地域（北海道）を調べました。 ・沖縄では、家の屋上に水タンクがあります。 ・高原（婦恋村）ではキャベツが作られています。 ・雪国（横手市）では、雪を生かす町づくりが行われています。雪を生活に生かしています。 |
| | | 5 グループで共通点について話し合う。 ・くらしの工夫は、場所によって違うね。 ・さかんな産業も、場所によって違うね。 ・気候に合わせたくらしの工夫をしているね。 ・気候を生かした産業が行われているね。 |
| 調べる | 30 | 6 話し合ったことを全体で発表して比較することで、共通点をまとめる。 ・どの地域の気候も、場所によって特色がある。 ・どの地域も気候に合わせたくらしをしている。 ・どの地域も気候を生かした産業をしている。 7 まとめ文を書き、本時の学習についてまとめる。 日本各地の気候は違う。その気候に合わせたくらしや気候を生かした産業が行われている。 8 本時の学習について振り返り、他の特色ある気候の地域について考える。 ・調べた地域のほかにも気候をいかしたくらしや産業がありそうだ。 |
| | | ※ 各地域の発表の中から共通点を見つけることができたか。（発表・ノート） ・見つけられた子どもには、日本各地で同様にいえるか考えるようにする。 ・見つけられなかった子どもには、調べた地域の関連を振り返るようにする。 |